

審判講習会報告書

埼玉県女性日本公認審判講習会	担当者:	小柳幸子・竹澤友美		
日時	2016年2月11日(木・祝) 9:15 ~ 17:00			
場所	埼玉県立 大宮東高等学校			
講師名	田中光夫氏(日本協会)・吉田憲生氏、山崎人志氏、安西郷史氏、小柳幸子氏、竹澤友美(埼玉県指導委員)			
講習会名	平成27年度 女性日本公認審判講習会			
対象者	日本公認	62人	参加者	27人
			見学者	21人
				合計 48人
開閉講式	開講式		閉講式	
		有		有

報告事項(講義の内容、講習会形式等)

○開講式

竹澤友美: コートの外でも有益な審判員になること、コートの中での判定力を高めていくことを目的と考えている。  
 吉田憲生氏: 女性に特化した講習会を有効に活用し、全体として向上して欲しい。  
 田中光夫氏: 何かに気づき次につなげていくことが大切。そうしないと意味がなくなる次へ次へ進んでいって欲しい。  
 昇格予定者挨拶 九里氏: 今後も1人の女性として人生計画をたてて審判活動を頑張っていきたいと思う。



○ビデオ研修: 田中光夫氏 ※別紙

○モデルゲーム 大宮東高校 対 共栄大学 主審: 九里亜紀氏 副審: 八木里美氏

田中氏より: リードに早く入りPlayを受けること。判断して右へ見に行く、すぐに戻らずに全部見るまでいる。  
 スペースを求めトレールが高くならないようにペネトレイトしながら下りる。

○分解練習 ※別紙

○ゲームを使った実践講習

協力チーム: 大宮東高校・共栄大学

分解練習の内容をふまえ、リード・トレールの役割、判断してよい位置取りを求めることを積極的にチャレンジした。

○閉講式

田中氏: トライすること。機会を無駄にしないように、1つ1つランクアップしてください。  
 吉田氏: 今回のような機会があり、恵まれた環境である。良い方向に進めていき仲間を作ってください。  
 山崎氏: 講習会をキッカケに自分の悪い癖や悪い習慣になっていることを見直し修正する。  
 安西氏: 審判にとって経験値が大きい。1つ1つ判定を積み重ね、1試合判定し続け、吹き続けて欲しい。  
 竹澤: 普段は見えていなかったものに気づいてもらえたら良い。活動を全体を通して前向きに捉えて向上して欲しい。



特記事項、要望等

講師に田中光夫氏をお迎えし、ビデオ研修、分解練習など内容を細かく具体的に設定して講習会を行うことができました。実践に即したご指導をいただくことができ、コートの上で何をどこどのように見るのか、判断して良い位置取りをするための準備や、判定をするための考え方や捉え方など、普段の活動に足りなかったものに気づくことができました。1日を通して得た事を今後の活動の中で取り組み、個々の判定力を向上させて欲しいと願っています。また、この講習会では企画、運営についても女性上級、指名強化審判員で行っており、コートの外でも組織にとって有益な人材を育てるための講習会にしていきたいと考えています。今年度は見学参加も可能としたことで、日本公認27名、見学者21名合計48名と大勢の審判員が参加し田中氏をお迎えできたことを大変嬉しく思います。埼玉県内にはランクに関係なく、これだけたくさん仲間がいることを頼もしく感じました。

最後になりますが大変お忙しい中、埼玉県へお越しいただき熱心にご指導いただきました田中氏に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

またトッパリーグシーズン中にもかかわらず貴重なお時間をいただき、3名の県内AA級指導委員の皆様にも講師としてご指導いただくことができました。昨年度に続き大宮東高校を会場として使わせていただき、高島先生には手配から準備、片付けまで大変お世話になりました。今年も皆様にご協力いただき盛大で内容のある良い講習会の1日となりました。本当にありがとうございました。